報道関係者各位

2018 年 12 月 27 日 野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

都市型コンパクトタウン

都市再生·地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護ニーズ

社会課題

定期報告・レポート

JR 常磐線「金町」駅・京成線「京成金町」駅駅前の再開発

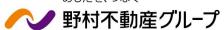
「金町六丁目駅前地区第一種市街地再開発事業」 着工のお知らせ

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/代表取締役社長:宮嶋 誠一 以下当社)が参加組合員として参画し、計画を推進中の「金町六丁目駅前地区第一種市街地再開発事業」(施行者:同再開発組合/理事長:小埜田 爵 以下本事業)における新築工事が12月22日付けで着工されましたので、お知らせいたします。



«建物イメージパース(北西側より望む)»

あしたを、つなぐ



1. 本事業について

本事業は、2006年6月に準備組合の設立、2010年3月に都市計画決定、2015年11月に再開発組合 の設立認可を受けました。その後、2018年1月に権利変換計画認可を経て、今般新築工事の着工となりまし た。なお、竣工は2021年夏を予定しております。

本事業では、駅前広場隣接という立地条件を生かし、地域に開かれた空間の整備とともに、2009年に竣工し本 地区に隣接する「金町六丁目地区第一種市街地再開発事業」(ヴィナシス金町等)との回遊性や賑わいの創 出、住環境や地域の安心・安全性の向上を図るなど土地の高度利用により、住宅、商業機能などを備えた市街地 への更新を図ります。

また、当地区が位置する金町駅周辺は、2009年にヴィナシス金町が竣工し、2013年4月には東京理科大学 が葛飾キャンパスを新設する等、整備が進められており、今後も一層のまちづくりが期待されている注目のエリアです。 その中でも当地区は、JR 常磐線「金町」駅、京成線「京成金町」駅から、それぞれ徒歩 1 分圏内に位置し金町駅 南口の顔とも言える地区となります。

2. 当社の役割

当社は、2015 年 11 月に再開発組合の設立認可を受けて以来、住宅保留床を取得する参加組合員として本 再開事業の推進に関わってまいりました。

本事業は、駅前広場との一体整備による地区内の環境改善及び免震構造の採用による防災性の向上に寄与 する事業であり、住宅190戸を整備するほか、地上1階~3階には生活利便機能を揃えた店舗や事務所等を整備 する予定です。

当社は住宅・商業などで構成される複合再開発事業の実績を踏まえ、今後も住宅・商業・業務などの複合再開 発事業に積極的に取り組み、「未来につながるまちづくり」に寄与してまいります。

■現況写真(平成 2018 年 11 月時点)



■再開発施行区域



※この地図は、国土地理院発行の地理院地図(電子国土 Web)を使用したものです。

3. 計画概要

名称	金町六丁目駅前地区第一種市街地再開発事業
計画地	東京都葛飾区金町六丁目 7000 番
交通	JR 常磐線「金町」駅徒歩 1 分 京成線「京成金町」駅徒歩 1 分
地域地区	商業地域/防火地域
計画容積率	約 699%
敷地面積	約 2,650 ㎡
延べ面積	約 25,320 ㎡
主要用途	住宅、店舗、事務所、駐車場、駐輪場 等
階数/高さ	地下 1 階、地上 21 階/約 86m
権利変換計画認可	2018年1月31日
住宅総戸数(予定)	190 戸(地権者住戸含む)
設計会社	株式会社佐藤総合計画
施工会社	戸田建設株式会社
工事完了(予定)	2021 年夏

4. 当社の再開発事業に対する取組について

当社では、これまでにも主に首都圏を中心に市街地再開発事業、マンション建替事業など、行政、地権者の皆様とともに進める街づくり事業に積極的に参画しておりますが、今後は全国においても再開発事業に積極的に取り組んでまいります。

再開発事業は、老朽化した建物の災害対策の側面から、また「街づくり」の観点からも、社会的に大変意義のある事業であり、今後ますますニーズが高まっていくものと考えております。なお、現在当社が参画している案件は合計で約14,700戸分となります。引き続き、住宅系再開発において業界トップクラスの実績と豊富なノウハウを活かし、行政、地権者の皆様と協力をしながら、総合デベロッパーとして都市の再生や地域の発展に貢献すると共に、「未来につながるまちづくり」に取り組んでまいります。

<現中長期経営計画のフェーズごとの案件数一覧>



※上記のうち、「ストック」は事業スケジュールが確定した案件を示しており、「参画」は事業スケジュールが確定前の案件を意味しております。